

全ては教科書が基本

全ては教科書が基本なんです。どんな良い参考書も基本教科書から出来ています。私の主観ですが、このサイトもいろんな参考書もそうですが、作り手の癖がありますし、問題の選択にそれが出ます。万人向けの参考書なんて一生かかってもできないと思います。ただ教科書だけは違いますよね。塾に行ってる子、いけない子、勉強の得意な子、苦手な子。みんな持ってます。また、教科書には非常に無駄がなくシンプルに書いてあるだけです。そこが重要なんです。そこからものごとを発見していくのです。教科書にはその醍醐味があります。シンプルイズベストとはまさにこのことを言うのですね。教科書には一種のエlegantさを感じますが、僕個人としては冷たいな～って思ってます。だって解る子には解るけど解らない子はどうするのってね。まあそのために勉強するんでしょうけど。いますよね？学校に1人は塾もいけないけど勉強得意な子って。勉強得意な子って学校(教科書)と家庭学習だけで、なんとかなっちゃうんですね。

数学には \div , $-$ は存在しない

簡単なことです。中1で減法(引き算)は加法(足し算)に直すでしょ。だから減法は全て加法として考えることができる。また除法(割り算)は乗法(掛け算)に直すでしょ。その代表が小6の分数の割り算。 \div は \times 逆数になおしますよね。ですから除法は乗法として考えることができる。だから引くという考え方ではなく全て足すという考えだし、割るじゃなくて、全て掛けるという考えだと僕は思っています。